



岡本 敏男



11月1日
日から新しい500円硬貨が発行されます。

1982年に誕生し、2000年に材質とデザインを変更した現在の2代目から21年ぶりのリニューアルです。世界で日常で使われる硬貨の中では5スイスフラン貨に次いで額面価値が高く、それだけに最新で高度な偽造防止のさまざまな工夫を備えています。

いよいよ登場 新500円硬貨



新500円硬貨のイメージ(財務省ホームページを元に作製)

サイズは今と同じですが、最微細な「JAPAN」と「500」も大きな変化は素材です。「パイヤラー・クラッド」構造という、2種類の金属をサンドイッチ状に重ねた円板を、別種の金属で囲んだ形状になっていて、外見も内外が異なる2色となります。より複雑な構造にすることで、さらに偽造しにくく、自動販売機などのセンサーで判別しやすくなります。

側面の斜めギザの一部で幅や太さが他と異なる「異形斜めギザ」のほか、表面の縁に非常に微細な「JAPAN」と「500」の文字が刻まれています。さらに、裏面を上下に傾けると「00」の数字の内側に見える「潜像」など、簡単にはまねできない仕掛けが満載です。

新しい500円貨を見つけたら、ぜひ手に取ってじっくり眺めて確かめてください。本年度は2億枚が発行される予定で、徐々に流通量が増加する見込みです。なお、新しい500円貨の発行が開始された後も、現行の500円貨は引き続き通用しますので安心して使い続けてください。

(日本銀行鳥取事務所長)